

ならはみらい

子育て世代とのつながりづくりのために「おさがり交流会」を開催

ならはみらいでは、さまざまな世代の方たちとのつながりを持ちながら事業を進めています。今回は、子育て世代とのつながりづくりとして「おさがり交流会」を開催しました。この場でつかえる専用通貨を導入し、人と物のゆるやかな交流を通して、子どもたちが、遊びを通して社会に触れるきっかけづくりも行っています。



“ならはみらい”の最新情報を定期的にお届けします！

- P2 ならは応援団&なにかし隊が新しく生まれ変わります
- P3 地域×企業 立地企業親和会活動報告
みらいスタッフが紹介！イマドキ“ならは事情”
- P4 ならはみらいプチ補助金活動紹介
ならはみらいこんなことにチャレンジしています
- P5 ならはプレーヤー紹介
最新情報をPick up!
- P6 Hot/Info/MIRAI Now/News

一般社団法人ならはみらい

2014年6月末にまちづくり会社として設立。
「きずな・安心・活力」この3つの基本理念のもと、町内外から応援をいただきながら町民自身が主体的に関わりを持ち、住みよい暮らしとなるよう様々な事業に取り組んでいます。

ならは応援団&なにかし隊が生まれ変わります。

2014

2025

ならは応援団は、2014年のならはみらい設立当時立ち上がり、「檜葉町を応援したい!」という想いを持った町外にお住いの皆様にご登録、活動をおこなっていただきました。

一方なにかし隊は、町民による団体で、2015年の避難指示解除当時から活動を開始。現在に至るまで続く檜葉町の“地域主体のまちづくり”の礎を築いてきました。

この度、この2つの仕組みは檜葉町の復興からまちづくりへのフェーズの変化に合わせて、「ならはプレイヤーズリスト」として生まれ変わり、より一層檜葉町におけるアクションに重点を置いた取り組みを広げていきます。

ならは応援団 これまでのあゆみ

町内での花植え活動支援

避難指示解除を控え、町に帰ってくる人が気持ちよく過ごすことができるようにと花植え活動を実施。その後、活動の担い手が町民に移り、行政区ごとの花植え活動に発展しました。



アーカイブ・情報発信活動

県内外から多くの学生が檜葉町を訪れ活動を実施。中でも「ならは31人の“生”の物語」製作活動は、10年間活動を継続しています。一人ひとりの顔と名前がわかる関係性づくりを大切に、長く関わり続ける方も増えています。



イベント企画の提案・実施

全国にいるならは応援団の皆さんの中には、町の状況に応じた活動の提案をしてくださる方もいらっしゃいました。コーヒーの提供や子ども向け企画の実施、交通安全グッズの寄贈など様々な形で想いが届けられました。



なにかし隊 これまでのあゆみ

町内放送でのメッセージ放送

いち早く檜葉町に戻った方々に元気を届けたいと仮設住宅等で習慣になっていたラジオ体操と組み合わせて、自分たちで集めたメッセージ放送を開始。毎朝8:25～の放送は現在も続いています。



餅つき大会の企画・開催

震災後初の町内での餅つき大会を通じて世代を超えて交流ができる場をつくろうと企画。時間をかけて準備を進め、100名以上が参加しました。町民主体の活動の大きな一歩を踏み出しました。



かかしを通じた賑わいづくり

町内居住者数が700名程度だった頃から、町を少しでもにぎやかにしたいと等身大のかかしづくりを開始。銀行や郵便局、道の駅の他、要望があった場所に設置をして地域の人を元気づけました。



ならはプレイヤーズリストって？

ならはみらいは、『“想い”と“アクション”から物語が生まれ続けていくまちへ』をビジョンに掲げています。この地域にある、ひと・もの・ことの情報を『ならはプレイヤーズリスト』としてまとめ、それぞれの現状にあわせた情報提供や協力をお願いをする他、各活動を繋ぎたいと考えています。お住まいに関係なく、檜葉町と関連する取り組みをおこなう皆さんにご参加いただけますので、ぜひならはみらいまで情報をご提供ください♪

檜葉町立地企業親和会

組織紹介

南工業団地、北産業団地、竜田駅東地区、その他公共施設に入居する企業・団体の22社

檜葉町立地企業親和会は、町内に立地する企業等が地域と良好な関係を構築し、各種まちづくり施策に積極的に関わることで、地域と企業がともに持続的な発展を目的とする協議体です。

今回は会員の声から生まれた美化活動に関する報告をさせていただきます。

親和会の会員企業で働く方の中には檜葉町外から通勤する方も多くいるため、『檜葉＝働く場所』だけにならないよう、町内の余暇スポットを知ってもらい、地域の方と交流できる地域交流企画『ホトギス山ハイキング&BBQ』を開催。



BBQはナラコスタで開催

会員企業で働く方と、その家族である5社13名の方に参加いただきました。

ハイキングでは、スポーツ協会の指導員3名にレクチャーいただき、BBQでは、南工業団地が立地する山田岡行政区の方々にもご参加いただきました。

交流を深めながら地域を知る機会となりました！



山頂447mまでのハイキング

これが イマドキ！

“ならは事情”

・ならはみらいスタッフが紹介！

移住者交流会への参加 お待ちしております♪

9/6(土)9:30から移住者交流会を開催します！今回のテーマは「～正しく知ろう！～放射線の基礎知識」。当日は専門の先生をお招きして放射線測定器を使いまざらせ周辺の放射線量を計測します。

参加者同士、気軽にお話ししながら一緒に放射線について理解を深めましょう！どなたでもご参加できます！

とりあえず一緒にまざらせ！✿



詳細は「暮らすなら檜葉」インスタをチェック！

Creemaクラフトマルシェ 今年も開催決定！

11/2(日)10:00から「第4回福島・ならはの暮らしとクラフトマルシェ」を開催します。

会場を「みんなの交流館ならはCANvas」に移し、20店舗増の約40店舗に拡大。国内最大のハンドメイドマーケットCreemaの作品がずらりと並びます。

小学生以下のお子様限定(100個)でCreemaの逸品を来場プレゼント！



とっておきの逸品がみつかるかも！



想いをアクションに!!

ならはみらいまちづくりフチ補助金

ならはみらいフチ補助金

「地域にこんな場があったら」「子どもたちにこんな体験をさせたい」といった思いが、実際の活動として形になりつつあります。

※フチ補助金は、予算の範囲内での運用となっています。現時点ではまだ受付可能ですので、活用を検討されている方はお気軽にどうぞ。

採択一覧はならはみらいホームページをご覧ください。

今年度の採択件数 10件(芽吹き部門 9件/若葉部門 1件)が採択されています。

フチ補助金

【芽吹き部門】

補助上限額10万円

【若葉部門】

補助上限額30万円

申請期間

令和7年12月20日まで

補助対象期間

採択日～令和8年3月31日

対象活動

- ① コミュニティの活性化、にぎわいのあるまちづくりに向けた活動
- ② 町民が主体となり、生きがいのもてるまちづくりに向けた活動
- ③ 地域づくりのアイデアの試行的活動
- ④ 地域の魅力的な景観、環境づくりに向けた活動
- ⑤ 地域商業の活性化に繋がる活動



自分たちの地域は、 自分たちの手でつくる

フチ補助金【若葉部門】の採択事業をご紹介します!

NARACOSTA Farm(ナラコスタ・ファーム)

～地域とつながるコミュニティ農場～

「NARACOSTA Farm」は、地域の人たちが集い、関りながら野菜を育て、農業体験や収穫祭、地域イベントでの販売など、世代を問わず楽しめる機会をつくるプロジェクトです。

畑の整備からはじまり、苗植えや収穫、農家による講習会、収穫した野菜を使った料理イベントと活動は多岐にわたります。今後は直売所の建設まで構想を膨らませています!

地域住民と移住者がともに汗を流し、「農」を通して人と人がつながる場を育てていきます。

「仲間がそれぞれのタイミングで畑に現れ、手入れをしているうちに、いつの間にか畑にみんなが集まり会話が生まれているのも嬉しいですね」と笑顔に。

小山正志さん



だれもが
このまちをつくる主人公!

ならはのプレイヤーたちをご紹介

避難先の山梨県で生まれ、いわき市で育った草野さん。檜葉町に戻り、それまで続けてきた犬猫の殺処分ゼロを目指す活動を行っています。

草野 心花さん

ララこぴハウス運営 上小埜在住(14歳)

Instagramで
情報発信をしています♪



🔪 活動内容について

ララこぴハウスは、県内の犬猫の殺処分ゼロを目指し、啓発活動と保護活動をおこなっています。活動を始めたきっかけは小学校3年生の時に偶然観たTVのニュースでした。その後、家族や学校の協力の他、想いを共にする仲間ができて、活動の幅を広げて来ました。これまでに保護をして里親につないできた猫の数は60匹以上です!

進学に伴い檜葉町に戻り、新たな環境で活動を進める中で、町内や周辺地域の方を対象にした情報発信と繋がりづくりができればと思い、7月には写真展を主催。これまでご縁があった方はもちろん、同じような課題感を持つ方や里親希望の方との出会いもあり、延べ約271名の方に来場いただきました。



🔪 今後挑戦したいこと

これからは、情報発信やワークショップができる拠点を構えるために準備をする予定です。また、保護をした猫の譲渡会を開催できればと考えています。いわき市に住んでいた時よりも、双葉郡・南相馬の

方々からの問合せも増え、浜通り全体をつなぐことも自分たちの役割の一つになりそうだなと感じています。活動に関心のある方はぜひInstagramを覗いてみてください♪



「イベントを主催したい!」と地域活動相談窓口を訪ねてきてくださり、打合せを重ねてイベント当日を迎えました。丁寧に積み重ねられる活動に共感と応援をする方々が増えているんだと感じました。

👉 Pick up

今年も星空酒場を行いました



毎年7~8月、ここなら笑店街で行われる「星空酒場」。笑店街テナントの食事やドリンクを夜空の下で楽しめる好評企画です。

今年は趣向を変えて、大人の昼呑みと子どもたちが楽しめる縁日を合わせた特別イベントを8月2日に開催予定でした。しかし、台風9号の影響のため中止となったため来夏は盛大に行います!

今後、笑店街ではクリスマスイルミネーション点灯式や新春イベントを予定しているのでお楽しみに!

開催!

第4回ならは百年祭開催!



ならは百年祭は、この地で愛され守られる100年続く伝統をつくりたいと立ち上げた地域主体の祭りです。

8/16(土)に笑ふるタウンならはにて第4回ならは百年祭が開催され、会場は2500人の来場者でにぎわいました。檜葉音頭やお囃子の演奏に加え、ゲストパフォーマー「ケケノコ族」のダンスで会場は大いに盛り上がりしました。

キッチンカーや出店、子ども向けブースも賑わいをみせ、世代を超えて楽しめる一日となりました。

開催!

**Hot!**

お役立ち機材レンタル制度をご活用ください。

「イベントを開きたいけど、機材がなくて困っている!」との声から、
 ならはみらいでは今年度からお役立ち機材レンタル制度を始めまし
 た。この制度により町内で行う行事やイベントを少しでもお手伝いし、



町の活性化につな
 がっていただくと考え
 ています。今回は利用
 者の方の声を紹介いたします。「イベントの度にクイックテン
 トを借りて、有意義に使っています。暑い時期には来場され
 た方々にもテントは役立っています。このテントは人手が少な
 くても簡単に設営が出来るので大いに助かっています。」

(上井出行政区長／小野治久さん)

**Info**

檜葉町移住相談窓口のご紹介

檜葉町移住相談窓口は、今年で開設4年目を
 迎えました。2024年5月には、より深く町の魅力
 を移住検討者へお伝えするため「まざらっせ」へ
 移転。多くの皆様にご利用いただいています。

～移住相談窓口ではどんなことをしているの?～

移住検討者、一
 人ひとりに合わせ
 たサポートを行っ
 ています。例えば、移
 住希望者には檜
 葉町の生活を体
 験できるオリジナ
 ルプランを作成。移住後のミスマッチを防ぎます。



～まずはお気軽にご連絡ください!～

お近くに移住を検討されている方がいらっしや
 いましたら、ぜひ檜葉町移住相談窓口をご紹介く
 ださい。また、すでに移住された方のご相談も受け
 付けております。

どうぞお気軽にお問い合わせくだ
 さい!

**Report**

広島県湯田小学校にいつきました!

震災後、藍の種が湯田小学校3年生から届い
 たことがきっかけで“ならは藍染め会”が出来まし
 た。毎年、届く種を
 もとに交流が続い
 ています。

今回、湯田小学
 校で語り部や藍染
 めの授業のサポー
 トを行いました。

**MIRAI Now**

ならはみらいの動き

9月

5日 ● 避難指示解除から10年

6日 ● 移住者交流会

11月

22日 ● 移住者交流会

12月

..... ● ここなら笑店街イルミネーション点灯式

1月

10日 ● 移住者交流会

※詳細はサイトやSNSをご覧ください

毎月実施

檜葉町活性化協議会会議(第1水曜日)
 ここなら笑店街テナント会(第1木曜日)

発行者・問い合わせ先

一般社団法人ならはみらい

住所: 〒979-0604 福島県双葉郡檜葉町大字北田字中満260番地 みんなの交流館ならはCANvas内
 電話: 0240-23-6771 FAX: 0240-23-6772

Mail: info@narahamirai.com Web: https://narahamirai.com

